# 川内村ワーケーション拠点整備事業 (まちなか拠点) における民間活力導入可能性調査 事業概要資料

福島県川内村 総務課 DX推進室

# 川内村ワーケーション拠点整備事業(まちなか拠点)について

川内村DX推進室では、「10、20年後も川内村に関わるすべての人がより良い生活環境や、新たなサービスを享受することができ、豊かで、幸せな生活を持続的(sustainable)に営むことができるように、デジタル技術等を用いて、ひと(村民)×むら(地域)×やくば(行政)の三つの視点から取組を進める」という将来目標のもと、ひと×むら×やくば(sustainable village innovation)というスローガンを立て、取り組みを進めてきました。

地域の持続性を考えるにあたり、いかに地域の経済活性・経済循環を促すのかという点は重要な課題の一つであると認識しています。農林業だけではなく、デジタルを活用した新しい仕事の場所・働き方として川内村に来ていただく仕組みを作ることで、新たな交流と活性を生むことを目指しています。

今回、これらの取り組みを推進する拠点として、村の中心地町分地区中心地の高台にワーケーションのまちなか拠点を整備することとなりました。

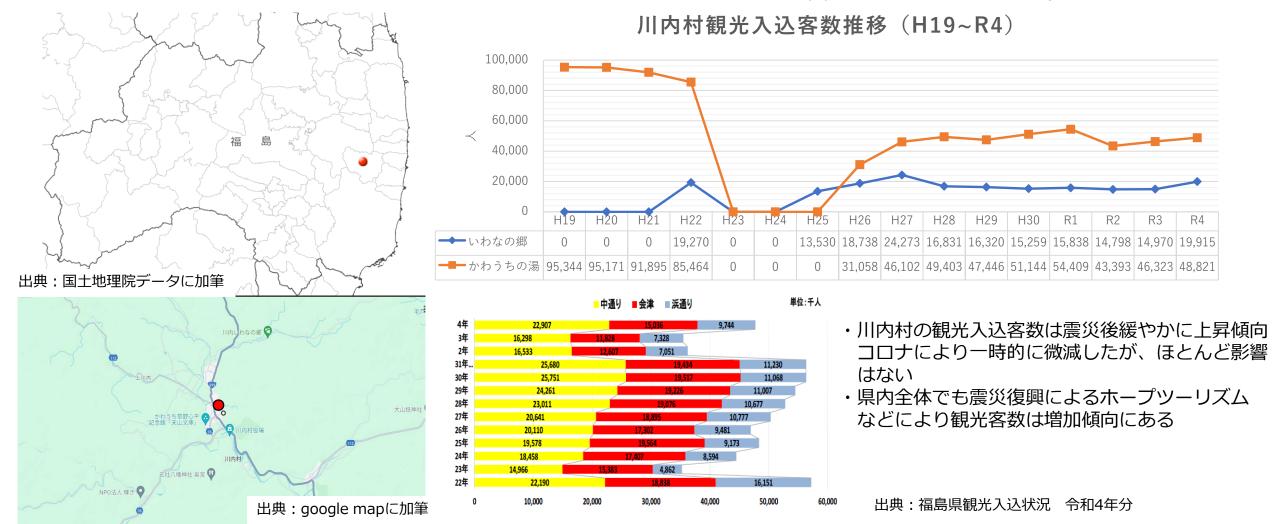
拠点施設は、平成23年の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う全村避難中にドイツ赤十字社から寄贈を受けた仮設コミュニティセンター「なかよし館」を移設する計画です。

「なかよし館」は川内村の歴史・復興を物語る施設であるとともに、新たな村のチャレンジの 拠点となる施設です。

復興から創生への新たなステージに向けて動き出す川内村の取り組みに対し、皆様のご意見や 知見を頂戴するとともに官民連携での地域づくりに向け、より良い施設と環境を目指してまいり ます。

### 1. 状況整理

- (1) 立地・アクセス
- ・川内村は、福島県浜通りの阿武隈高地の東側に位置しており、標高400m~900mの山々に囲まれる高原の盆地
- ・東京からは約210km(車:約3時間)、仙台から約130km(車:約2時間)の場所に位置
- ・福島県内の主要都市である郡山市からは約60km(車:約1時間)、いわき市からは約40km(車:約1時間)
- ・最寄りのICは①常磐富岡IC(常磐線)で約20km(車:約30分)、②小野IC(磐越自動車道)で約20km(車:約20分)
- ・村内に駅は無く、公共交通は路線バス(田村市方面と小野町方面、富岡町方面の3系統で3本/日程度の運行)

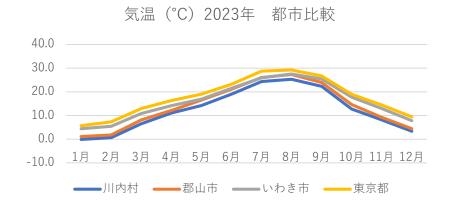


### 1. 状況整理

#### (2)環境特性

出典:気象庁データ

- ・気象条件:最寄りの地域気象観測所である「川内」を基準に、近隣の都市と比較。浜通りに位置していながら、一年を通し冷涼な環境。最深積雪のデータは観測されていないが、例年春先は20cmほどの積雪を観測している。
- ・特徴的な自然景観としては、国指定天然記念物となっているモリアオガエルの繁殖地である平伏沼や、阿武隈高地の最高峰である大滝根山、村の花でもあるサラサドウダンの群生地である高塚山などが挙げられる。











# 状況整理

- (3) 村内既存施設・その他拠点
- ・村内のワーケーション可能な施設を調査・整理



- lNo. 施設名称 所有 備考 教育委員会管理施設。会議室や図書スペース、体育館が併設 村 コミュニティセンター されている。 地域文化伝承教室 川内小中学園内に併設されたコミュニティスペース。利用無 料でWi-Fi、フリードリンクあり。学校関係者以外も利用可。 にじいろ モリタロウプール |村営プール。25Mプールのほか、施設内にジム器具あり。 ブドウの圃場に併設したワイナリー施設。 かわうちワイナリー 施設内でワインを購入することも可能。 移住相談、空き家バンク、各種イベント運営等を行う村づくり 5 かわうちラボ 会社。社内にコワーキングスペースあり。 かわうちラボが運営するお試し移住専用トレーラーハウス。 (月光)GEKKOU 村 敷地内にレンタサイクルあり。 いわな釣り、キャンプ、食事、コテージ泊ができる複合施設。 いわなの郷 公衆Wi-Fi完備、レンタサイクルあり。 単純アルカリ泉の日帰り温浴施設。大広間や食事処、土産販 8 かわうちの湯 |売。隣接した物産品直売所、パン屋あり。レンタサイクルあり。 複合商業施設 コンビニや食事処、土産販売、クリーニング店、フリースペー 9 スが併設された複合施設。Wi-Fi、レンタサイクルあり。 YO-TASHI
  - かわうち@ワーク 個人経営のコワーキングススペース。 小松屋旅館 個人 村内の旅館

ビジネス旅籠

わか久

オルタナギャラリー

- 個人 村内の旅館
- タイのコーヒーチェーン店(日本第一号店) Café Amazon |ガパオライスやカレー、コーヒーが人気。Wi-Fiあり。
- 築200年の古民家を改修したカフェ。 14 cafe 秋風舎 |村産食材で作るカレーやドリンクが人気。Wi-Fiあり。
- R6年11月にオープン予定のクラフトジン蒸留所兼レストラ 15 個人 naturadistill ンバー。 町分 旧保育園を改築した民泊施設。異国のような空間で音楽イベ 個人

ントやアート展示、ワークショップ等実施。

# 状況整理



①コミュニティセンター



⑤かわうちラボ



⑨複合商業施設YO-TASHI



<sup>13</sup>Café Amazon



②地域文化伝承教室にじいろ



⑥月光 (GEKKOU)



⑩かわうち@WORK



⑭café 秋風舎



③モリタロウプール



⑦いわなの郷



⑪小松屋旅館



15 naturadistill



④かわうちワイナリー





迎ビジネス旅籠 わか久



Guest House & Evente

## 2. 事業概要 (1)目標と取組の視点

### 事業目標

#### 〈事業目標〉新しい選択肢の提供と地域経済循環

余暇や仕事を通し地域に訪れ、地域やここに住む人々と交流し、新たな故郷 を創生するような価値ある滞在を提供するための拠点として、村中心地である 町分地区にワーケーションまちなか拠点施設を整備する。

まちなか拠点を起点として村内の他の拠点を巡り、村内での人の循環を促すことで、経済と地域の活性化を目指す。

また、ワーケーションに訪れた方々が村に愛着を感じていただくようなコンテンツやサービスを提供することで、交流人口増進と転職なき移住を実現する基盤を整備していく。

### 施設に求める機能

・コワーキングススペース機能

ワーケーションに訪れた方が立ち寄り、自由に仕事や交流をしていただける 拠点として、入りやすく、滞在しやすい環境を整備する

・シェアオフィス機能

転職なき移住実現のため、サテライトオフィスやシェアオフィスを整備する

・観光案内、物産販売機能

域内外の利用者が交流し、様々な方々に利用していただくため、村の観光案内や土産物、物産品の販売機能も設ける

・各種会議室、教室機能

多目的な会議室、イベントスペースを整備することで、各種会議や生涯学習 活動、子どもの学外学習など多様な利活用を図る

・チャレンジショップ、学生連携拠点機能

起業家支援や学生連携の拠点としてワークショップやイベントを開催する

コワーキングススペース シェアオフィス 観光案内、物産販売 各種会議、教室 チャレンジショップ、学生連携

まちなか拠点

いわなの郷

Café Amazon

拠点間の周遊による 村全体の経済活性と交流拡大

かわうちの湯

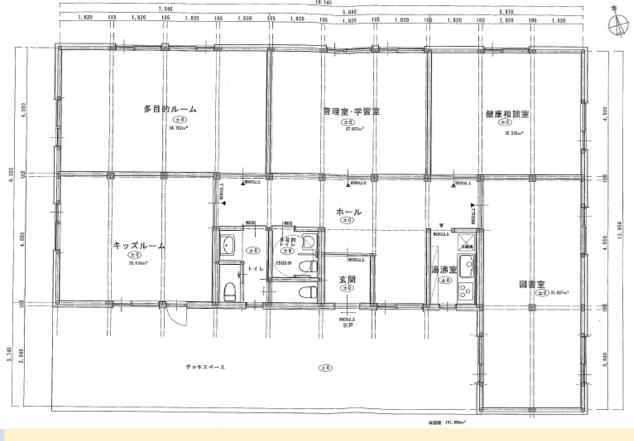
にじいろ

**YO-TASHI** 

## 2. 事業概要 (2)施設概要

## なかよし館





震災後、川内村が郡山市に全村避難した際、仮設集会所として ドイツ赤十字社より寄贈された複合施設。帰村後、平成25年に 郡山市から川内村に移設され、川内村の復興を後押しするため、 長崎大学との連携拠点や、放課後こども教室などに利活用され ていた。近年では利用頻度が下がり遊休施設となっている。

※平成25年に移設された際新築扱いとなった。

·建築年月日:平成25年3月31日

・構造: 木造1階建 ・延べ面積: 190.25㎡

· 現 在 地:福島県川内村大字上川内字小山平15-1

川内村に移設した際、長崎大学との連携による健康相談や、児童福祉施設として活用していたため、部屋割りは多目的ルーム、管理室・学習室、健康相談室、図書館、キッズルームとなっており、湯沸室も整備されている。本施設はドイツ政府の方針(ドイツ風デザインと次世代省エネ基準)を踏まえたエネルギー型施設となっており、高気密・高断熱な部材を使っているため、最小限の空調でも、冬は暖かく、夏は涼しい環境が保たれている。また、放射線被ばくを考慮し、外気を取り込む際、水を利用し除染された空気を室内に循環させる機構が採用されている。



















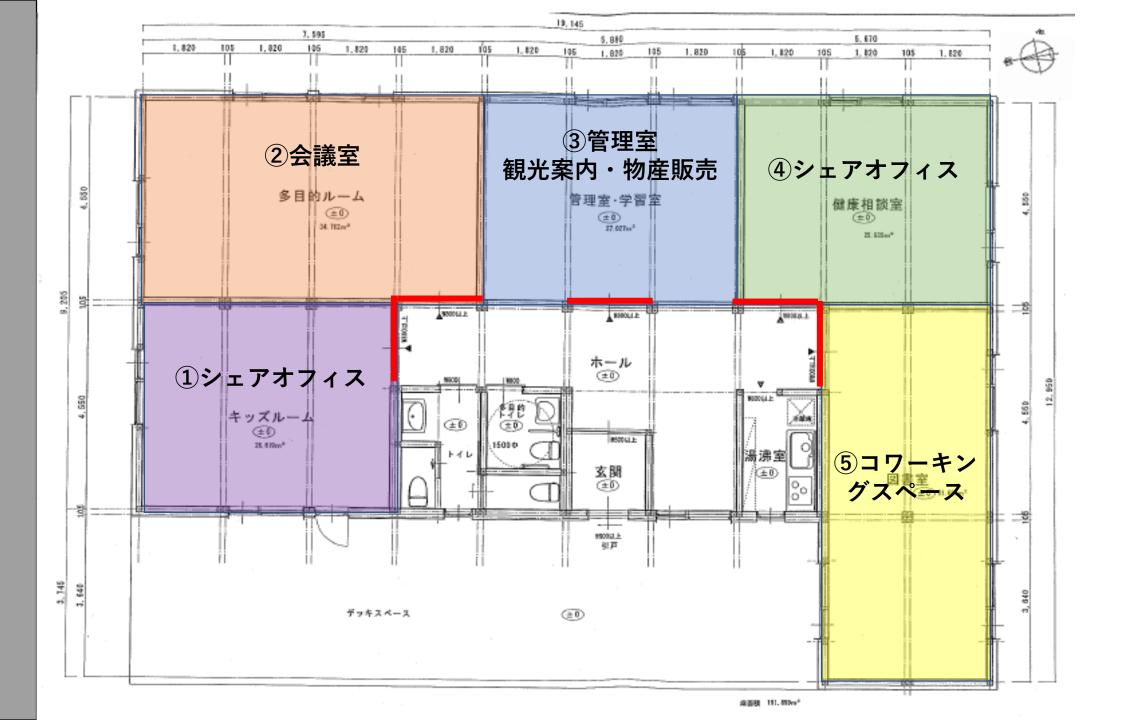




⑤部屋 (コワーキングスペース) 31.7㎡







# 2. 事業概要 (3) 移設先用地概要



住所:川内村大字上川内字町分138-1

面積:約3,000㎡

概要:村の中心地である町分地区の高台南面に位置しており眺望が良い。川内村役場から約1kmほど。

旧川内第二小学校跡地。用地裏手には民間企業運営のアパートが2棟あり、さらに山側に小学校体育館を利活用した工房がある。主要道である県道小野富岡線からのアクセスが良く、カフェやJA福島さくら川内支店、旅館、食事処やオープン予定のクラフトジン蒸留所へも徒歩圏内である。

また、道路との距離があり、裏手に山があるため閑静で自然に囲まれており、川内高原のさわやか

な空気感を体感できる環境と言える。











# 2. 事業概要 (4) ゾーニング

まちなか拠点ゾーン:川内村ワーケーション事業における玄関となるため、まずは人が訪れ、村で働くことや、交流の場所として 整備を進める。人が訪れるための施策として観光案内や土産・物産販売、簡単な飲食物の販売等も見据えて いる。また、働く場所としてシェアオフィス、コワーキングスペースを整備し、サテライトオフィスや支店 スタートアップを誘致していく。また、コンシェルジュを常駐させることで、村全体の案内や説明、地元と 外の交流の橋渡し事業を行う。また、拠点東側は眺望を活かしベンチや東屋を設置。自然の中でイベントや 仕事ができる環境を整備していく。

利活用検討ゾーン:まちなか拠点南側の用地については、利活用を検討している。人を呼び込むための施設や、簡易宿泊、飲食

機能としてキッチンカー誘致なども検討。住民向けに芝生や築山、遊具を備えた公園施設なども検討中。



法規制概要	
法令と指定概要	該当状況
川内村自然環境保護条例	該当なし
町分地区景観形成ガイドライン	エリア該当なし 眺望スポットとして 記載あり
その他	利活用検討ゾーンに おいては行政区およ び周辺事業者と調整 が必要

### 2. 事業概要 (5) 事業スキーム

まちなか拠点の施設管理(ハード)と運営管理(ソフト)については、村からの指定管理委託を予定しています。 基本的には、利活用検討ゾーン含めた拠点全体のハード・ソフト両方の運営・管理委託を想定しております。

まちなか拠点	指定管理委託
運営維持管理	民(指定管理料として村から支払有)
賃料負担	自主事業分については賃料が発生
施設整備工事	官
インフラ整備	官(シェアオフィスの一部を除く)
村側留意点	<ul><li>・条例制定</li><li>・管理費予算確保</li><li>・指定管理委託に係る要綱制定</li></ul>
事業者側留意点	・一定の自由度あり ・基本的には賃料不要 指定管理料による管理費補填あり

#### 想定される管理・運用内容

≪ハード≫

- ・施設運営管理保守(なかよし館)
- ・周辺環境整備(清掃・草刈・除雪等)
- ≪ソフト≫
- ・一般利用者対応(コワーキング等)
- ・シェアオフィス入居企業対応
- ・その他プログラム、イベント企画運営 (起業家支援や大学連携、住民交流など コワーキングスペースや多目的会議室を 活用し、交流人口拡大やにぎわいを作り、 地域全体が活性化するような取り組み)
- ※利活用検討ゾーンについては、どういった機能の施設を整備するのかによって収益性や維持管理も変わってくるため、民間事業者様からの提案という形で調査を実施いたします。
  また、なかよし館の間取りや機能についても村案にとらわれず、広く提案を受け付けいたします。
- ※まちなか拠点については、コンシュルジュとして村の地域おこし協力隊1名を配置予定です。 (観光案内・土産販売等に従事予定)